


連携だより

令和4年

2月号

令和4年2月1日発行

独立行政法人 国立病院機構 
呉医療センター・中国がんセンター
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
TEL 0823-22-3816
FAX 0823-32-3070

URL <https://kure.hosp.go.jp>

E-mail 506-kure-renkei@mail.hosp.go.jp

2月の花 ツバキ

理念

思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します



今月号のトピックス

- 「めまい」について 呉医療センター 統括診療部長 大庭 信二…… 1

広島FMで放送されました(令和3年12月23日)



「めまい」について



呉医療センター
統括診療部長
大庭 信二

一般的に言えば、多くの方は、いわゆる“めまい”を自覚すると、まず耳鼻科で診てもらわなくちゃいけないと考えておられると思います。また、めまいと聞くと、よく耳にする診断名がメニエール病です。私の外来でも患者さんが、自分は「メニエールを持っている」といったような言葉をおっしゃることがよくあります。私からすればメニエール病といった疾患名は、画像診断が簡単にできなかった時代に、原因がはっきりとしないすべてのめまい発作に対してつけられた病名であるといった印象があります。実はめまいを訴えて外来に来られてもそれが、耳鼻科的疾患とは限らず、内科的疾患もしくは、脳神経外科的疾患が原因であったりすることも少なくありません。ですから、しばしばめまいを自覚される方は一度しっかりとした検査を受けられることをお勧めします。

めまいってどんなことを言うの？

一言で“めまい”と言っても実際にはみなさん言われることが微妙に異なります。まず、天井がぐるぐる回るといった回転性めまいがあります。それ以外には、立ち上がった時にくらとくる立ち眩みをめまいと言う人もいます。さらに、歩いていてなんとなく左右に傾くとかフワフワするといった、ふらつきをめまいと言われる場合もあります。ですから、めまいには色々な表現があるのです。そして、そのそれぞれの表現に当てはまる原因疾患が実際あるのです。

こういった病気が実際に考えられるの

まず、“立ち眩み”について言います。立ち上がった時にくらっとしてしまふ現象です。これは意識がなくなる直前の状態とも言えます。立った瞬間に血圧が下がって、意識中枢である脳幹というところに一時的に血液が通わなくなってしまうことによる現象です。原因が何であれ脳の幹に血液が突然流れなくなるのが立ち眩みの本質です。若い人には、起立性自律神経失調症による一時的血圧低下が見られ、これが一番原因として多くみられます。若い女の子がよく朝礼中にひっくり返って倒れる現象が典型例です。お年寄りの場合には、夜トイレに行って、用を足したのちに急に倒れてしまうことがあります。これも急に一時的に血圧が下がって脳に血液が流れなくなって起きる現象です。ですが高齢者では、血圧変化がないのに立ち眩みを感じる場合もあります。この場合は脳幹を栄養する椎骨脳底動脈の血流が悪くなっていることを疑い、健康管理の生活指導をしたうえで、脳梗塞予防薬の薬を服用していただく必要があります。要するに老人の立ち眩みは注意しなくてはいけない症状なのです。

次に、フワフワするといった浮揚感について言います。この場合は中枢性平衡機能障害がまず疑われます。この浮揚感は、先ほど述べた脳幹や小脳といった、からだのバランスをとる働きをする部分にすでに障害がある場合に現れる症状です。小さな脳梗塞や脳出血、脳腫瘍のようなできものによる、脳の圧迫の場合も考えられるため、一度は頭をMRI検査などで調べてもらうことが必要です。また、高齢者の場合、はっきりとした病気がなくても、小脳が加齢変化により萎縮し、立っているときに、目を閉じるとフワフワする感じを自覚することがしばしばあります。そして、高齢者で高血圧の治療中の方の場合、血圧が下がりすぎるとやはり、フワフワとしためまいを感じることもあります。血圧が下がりすぎて脳全体の血液の流れが悪くなったからです。この場合我慢せず血圧の薬を一時休薬するか、別の柔らかい薬に変えるかして何らかの対応を採ることをお勧めします。

最後に、回転性めまいについて説明します。天井が回るとか、景色が回るとかいっためまいのことを指します。これは、景色が回っているのではなく、何らかの原因により突然眼球が景色と反対方向に急激に回り始める動きをし始めたために感じるのです。これを眼振といいます。実際回転性のめまいを自覚している患者さんの目を確認すると眼球が微妙に揺れています。この突然自覚する回転性のめまいは、症状がとても激しくて、皆さんおおむね立っていることができません。ですから、救急車で運ばれて来られる方が多くいます。さらに、おう気・嘔吐を伴うことがしばしばあります。めまいの極期には眼振があるため目を開けておくことも辛いといわれます。この回転性めまいの場合は、直ちに命に係わる悪性のめまいと、そうでない良性のめまい発作が混在するため、鑑別診断は速やかに行わなくてはならないと言われています。ですので、このような、回転性めまいを自覚した場合は、速やかに最寄りの総合病院を受診してください。

悪性の回転性めまい・良性の回転性めまいって どんなことが原因としてあるの？



回転性めまいには次の3種類が挙げられます。①頭痛を伴うもの、②聴覚障害を伴うもの、③何も伴わないめまいだけのもの、です。

- ①頭痛を伴う回転性めまいの中には、命に係わる悪性のものがあります。それは、くも膜下出血・小脳出血です。良性には片頭痛性めまい発作があります。
- ②聴覚障害を伴う回転性のめまいには悪性のものではありません。耳鳴りを伴う回転性のめまいを繰り返して自覚する場合は、メニエール病となります。片側の耳が聞こえなくなり回転性のめまいを自覚した場合は、めまい型特発性難聴と診断されます。この疾患は命に係わる病態ではありませんが、聴力回復のためにはできる限り早めの治療が必要です。呉医療センターには、高圧酸素療法が可能なタンクがあるため、多くの突発性難聴の方が治療に来られています。
- ③何も伴わないめまいだけのものには、頭を動かしたらおこるとか、首を動かしたらおこるとか、左うでを挙げたらおこるといった誘発性の回転性めまいと何もしないでも突然おこる特発性の回転性めまいがあります。

この特発性の回転性のめまいの原因としては、てんかん発作、脳幹梗塞、一過性脳虚血発作などがあります。誘発性の回転性めまいの原因としては、良性発作性頭位めまい、悪性持続性頭位めまい、鎖骨下動脈盗血症候群、頸性めまいなどがあります。

良性発作頭位めまいについて

今まで、めまいの原因について色々述べてきましたが、一般的に一番よく経験するのはやはり『良性発作性頭位めまい』です。これは、回転性のめまいであるため、ひどいときは激しい嘔吐を伴い、救急車で運ばれてくる方もしばしばいます。ですが、いわゆる良性の回転性めまいであり、耳石障害と言われていたもので、必ず治ります。めまいの特徴は、頭を急に動かすと途端に目が回り始めますが、30秒以内に収まってきます。立て続けに頭を動かすとだんだんめまいは弱くなってきます。しかし、休憩すると、また激しいめまいが起こってきます。以前3日くらい同じめまいを自覚していたがここ5年くらいなかったとか、半年くらいなかったとかといった頻度で発作が来るのが特徴です。めまいが治るのには大体約2週間程度かかります。

めまいには危険な状態への前兆としてのめまいや良性のめまいが混在しています。たかが、めまいと考えて決して侮ってはいけません。必ず病院でしっかりとした検査を受けてください。

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

平日 昼間	8:30~17:15	0823-22-3111
土・日および夜間	17:15~8:30	0823-23-1020



〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
独立行政法人 国立病院機構
呉医療センター・中国がんセンター

地域医療連携室

高野 弘嗣 清水 洋祐
森下 早苗 折本 陽一
片山 千雪
TEL: (0823) 22-3816

